

第2回 電気学会・磁気学会の融合研究会

電気エネルギー分野におけるパワーエレクトロニクスの進展で、磁性材料にも高周波高出力に対応した新たな材料が必要とされており、今後電気工学と磁気工学との益々の融合が期待されるところです。そこで今回、昨年に続いて、第40回日本磁気学会学術講演大会の期間中にて、下記要領にて両学会の融合研究会を開催しますので、多くの参加者をお願いいたします。

- 日時 平成28年9月8日
- 場所 金沢大自然科学研究科棟（角間キャンパス）

第一部：Symposium "IEEJ-MSJ Joint Symposium on research trends in permanent magnet motors and permanent magnets" Chief Organizer: S. Hirosawa(NIMS)

日時 平成28年9月8日 9:00-12:15
場所：金沢大自然科学研究科棟（角間キャンパス）A会場
(第40回日本磁気学会学術講演大会のシンポジウム)

9:00 ~ 10:30

08aA-1	Variable magnetic field technology and permanent magnet characteristic by the request of electric traction motors	°H. Nakai (TOYOTA Central R&D Labs.)
08aA-2	Development of Measurement Technique of three-dimensional Demagnetization Distribution in Permanent Magnets for Motors	°Y. Asano, S. Araki, A. Yamagiwa
08aA-3	Grain size refinement of Nd-Fe-B sintered magnets	°Y. Une, H. Kubo, T. Mizoguchi, T. Iriyama, M. Sagawa (Intermetallics)

10:45 ~ 12:15

08aA-4	Newly developed (R,Zr) (Fe,Co) _{12-x} Ti _x -N _y compounds for permanent magnets (y=1.3 for R=Nd, y=0 for R=Sm)	°K. Kobayashi, S. Suzuki, T. Kuno, K. Urushibata (SIST)
08aA-5	Research trends for the high-performance La-Co substituted M type ferrite magnets	°Y. Kobayashi (Hitachi Metals)
08aA-6	Observations of Coercivity in RE-Fe-B Magnets in Pulsed Fields up to 30T	°K. Yamada ² , K. Nakahata ¹ , H. Shimoji ³ , M. Enokizono ⁴ (¹ Oita Advance Technical Academy, ² Saitama Univ., ³ Oita Pref. Industrial Research Institute, ⁴ Oita Univ.)

- ◆ 午後の電気学会合同研究会参加者は本 IEEJ-MSJ Joint Symposium に無料で参加できる。但し、合同研究会参加章（当日配布）を携帯している者に限る。
- ◆ 磁気学会学術講演会の他のセッション聴講の場合は、磁気学会で参加登録を行うこと（参加費の支払いが必要）。
- ◆ 磁気学会学術講演会参加者は、合同研究会に無料で参加できる。

第二部：電気学会 回転機/リニアドライブ 合同研究会

日 時 2016年9月8日（木） 13:15～16:55

場 所 金沢大学 角間キャンパス自然科学本館 106講義室

主 催 電気学会 回転機技術委員会, リニアドライブ技術委員会

協 賛 電磁アクチュエータシステムのための磁性材料とその評価技術調査専門委員会／用途指向形次世代モータと支援要素技術調査専門委員会／日本磁気学会／日本磁気学会 エネルギーマグネットイックス専門研究会／元素戦略磁性材料研究拠点 ESICMM／高効率モーター用磁性材料技術研究組合（MagHEM）／パワーエレクトロニクス学会

議 題 テーマ「電磁アクチュエータシステムのための磁性材料（軟磁性および硬磁性）とその評価技術、回転機・リニアドライブ一般」

13:15～14:05	テーマ「磁気計測」	座長 デニニコラ（豊田工業大学）
RM-16-095	高温環境におけるインバータ励磁下の電磁	◎足立彩衣, 八尾 悅, 藤崎敬介（豊田
LD-16-103	鋼板の鉄損特性に関する一検討	工业大学）
RM-16-096	PWM インバーター励磁下のリアクトル損	◎八尾 悅, 塚田航平, 藤崎敬介（豊田
LD-16-104	失および材料損失	工业大学）, 進藤裕司, 吉川直樹, 吉竹 徹真（川崎重工業）
14:15～15:30	テーマ「モータ応用」	座長 米津武則（鉄道総合技術研究所）
RM-16-097	Impact of Inverter Low Dead-Time on the Core	◎Denis Nicolas, Wu Yenyi, 藤崎敬介
LD-16-105	Losses of an Interior Permanent Magnet Synchronous Motor	（豊田工业大学）
RM-16-098	アモルファス金属材料におけるモータ鉄芯	◎井上政己（日立金属株式会社）, 小
LD-16-106	加工法の検討	田原峻也, 藤崎敬介（豊田工业大学）
RM-16-099	アモルファスコア IPMSM の鉄損特性	◎遠藤徹也, 小田原峻也, 藤崎敬介（豊
LD-16-107		田工业大学）
15:40～16:55	テーマ「磁気計算」	座長 北野伸起（ダイキン工業）
RM-16-100	Finite element analysis for the investigation of carrier frequency influence on a PMSM iron losses	◎Wu Yenyi, 小田原峻也, Denis Nicolas, 藤崎敬介（豊田工业大学）
LD-16-108		
RM-16-101	超電導磁気浮上式鉄道車両のギャップ縮小	◎米津武則, 渡邊 健, 鈴木江里光,
LD-16-109	がリニア同期モータの特性に与える影響の検討	坂本泰明（鉄道総合技術研究所）
RM-16-102	Low Iron Loss Permanent Magnet Synchronous Motor for the Improvement of an Electric Vehicle Running Length	Denis Nicolas, ◎Martinez Wilmar, 藤崎敬介（豊田工业大学）
LD-16-110		

- ◆ 16:55-17:20 MMA 調査専門委員会
- ◆ その後懇親会を開催します。参加希望者は、小田原(sodawara@toyota-ti.ac.jp)までご連絡ください。（金沢大学自然研前 17:36, 17:43 発, 金沢駅東口 18:14, 18:21 着）（懇親会 18:30-20:30, 居酒屋さかなや道場金沢駅前店 050-5786-5314, 社会人：5千円程度, 学生：2.5千円程度）
- ◆ 本件の問い合わせ先： 豊田工業大学 藤崎 (fujisaki@toyota-ti.ac.jp, tel:052-809-1826) .